

## ■講師プロフィール

### 宮川 禎一（みやかわ ていいち） 京都国立博物館 上席研究員

1959年、大分県宇佐市安心院町生まれ。大分県立中津南高等学校卒。

1986年、京都大学大学院文学研究科修士修了（考古学専攻）。

兵庫県西宮市の財団法人辰馬<sup>たつうま</sup>考古資料館学芸員を経て、1995年から京都国立博物館考古室員。

2006年より同館学芸部考古室長。2016年より同館の学芸部上席研究員。

専攻は東アジアの考古学。特に統一新羅時代の陶質土器の研究、東南アジアの銅鼓の研究、平安時代の経塚の研究、あわせて坂本龍馬を中心とする幕末史の研究など。

京都市山科区在住。

著書には『増補改訂版 全書簡現代語訳—坂本龍馬からの手紙—』教育評論社 2014年。

『再考 寺田屋事件と薩長同盟』教育評論社 2018年、ほか

2016年の京都国立博物館での特別展覧会『没後150年 坂本龍馬』の企画展示を担当。

## ■発表者プロフィール

### 亀尾 美香（かめお みか） 坂本龍馬記念館主任学芸員

高知市生まれ。中央大学大学院博士後期課程修了。八王子市郷土資料館学芸員を経て2011年より現職。論文「幕末の土佐藩における郷土と砲術—島村家を中心に—」（松尾正人編『近代日本成立期の研究 地域編』岩田書店、2018年）他。担当企画展「大義と忠誠の戊辰戦争—会津・土佐・三春の幕末明治—」展（2018年）他。

### 今井 章博（いまい あきひろ） 高知近代史研究会会長・土佐史談会副会長

1955年高知市生まれ。関西大学経済学部卒。

2008年から2012年まで、高知市立自由民権記念館学芸係。

2017年から土佐史談会副会長。

現在、安田町まちなみ交流館「和」、文化振興企画員。

主な論文

2014年 「薩摩藩の萬次郎招聘について」『土佐史談』

2016年 「大町桂月の『伯爵後藤象二郎』成立まで」『土佐史談』

### 佐竹 敏彦（さたけ としひこ） 龍馬脱藩祭代表

昭和26年生まれ。高知大学文理学部経済学科卒。高知市役所、高知市社会福祉協議会等を経て、平成26年1月より故郷の中土佐町議会議員。2期目。教育民生常任委員会委員長。

高知市役所時代よりボランティア活動に従事。神田小PTA会長、高神公民館長、神田地区町内会連合会事務局長、三所神社責任役員、和霊神社氏子総代を歴任。現在、須崎地区猟友会久礼支部長、善賢寺参禅会会計、上ノ加江地区自主防災会事務局担当等。

昭和60年龍馬脱藩祭実行委員会を立ち上げ、事務局長として事業に携わる。現龍馬脱藩祭代表。

### 広井 護（ひろい まもる） 土佐中高等学校国語教師

1954年高知市生まれ。

早稲田大学第一文学部日本文学科卒。

私立土佐中高等学校に勤務。国語教師。